



Design

～地域包括ケア病棟から地域をデザインする～

発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

地域包括ケア病棟広報誌Design号外17号です。表面は、特別室・個室のご案内と老健やましろからのお知らせです。裏面は、“彩り”で受け入れした事例の紹介です。

(地域医療連携室 室長 南出 弦)

特別室・個室のご案内

～ 短期間のご入院などにも是非ご利用下さい ～

地域包括ケア病棟“彩り”の病床数は57床です。内訳は、特別室1床、個室は17床、4人床は39床です。特別室と個室の利用料金と主な設備は、以下の通りとなっています。短期間のご入院などにも是非ご利用下さい。(地域医療連携室 室長 南出 弦)

*

○ 特別室 (2018年12月1日より、利用料金を値下げしています) ※4～8階に各1床

お住まいの市町村	料金 (税別)	主な設備
木津川市・和東町 笠置町・南山城村 (病院組合市町村居住の方)	16,000 円/日 (旧) ↓ 12,000 円/日 (新)	全面フローリング・冷蔵庫 電子レンジ・浴室・トイレ 40型液晶テレビ・応接セット 大型クローゼット
上記以外の方	25,000 円/日 (旧) ↓ 16,000 円/日 (新)	

○ 個室 (備え付けのトイレ)

- ・ 組合市町村 (木津川市・和東町・笠置町・南山城村) にお住まいの方 6,000 円/日 (税別)
- ・ 上記以外にお住まいの方 8,000 円/日 (税別)

老健やましろより

～ 通所リハビリの“1日体験利用”をはじめました ～

地域の皆様からご要望の多かった“1日体験利用”をはじめました。入浴、食事、送迎を体験できます。リハビリは実際には体験して頂けませんが、見学は可能です。また、セラピストと直接お話しして頂き、リハビリに対するご希望やご要望などをお聞きさせていただきます。まずは、お問い合わせ下さい。食事代 (600円)、おやつ代 (162円) の実費のみ頂戴します。

0774-73-0359 (担当: 古川)

地域包括ケア病棟“彩り”で受け入れした事例の紹介（第36回）

～ 入院中に輸血が必要な患者さんを受け入れしました ～



患者さんは普段、介護保険サービスを利用しながら自宅で生活されてきました。医療の面では、貧血が進行してしまうため、定期的に輸血が必要な病状でした。

一時的に家業が多忙となる時期は、通院の付き添いや家族介護が難しくなるため、病状の管理ができる地域包括ケア病棟“彩り”を利用したいとの希望があり、受け入れさせて頂きました。入院が長くなるとADLが低下し、今後の自宅生活に支障が出てしまう恐れがあるため、ご本人・ご家族と相談し、家業が特に多忙となる時期に併せ、約2週間ご利用させて頂きました。入院中には何度か輸血をしましたが、ご本人は入院しながら輸血（治療）でき、とても安心されていました。

今回のケースのような医療が必要な患者さんを積極的に受け入れ、在宅療養を支えていけるような病棟になれば大変嬉しく思います。何かお困りごとがありましたら、お気軽にご相談ください。（地域医療連携室 ソーシャルワーカー 中野 明子）

地域医療連携室より

～ Come Together ～

今年4月から新たにスタートした「地域包括ケア会議」の報告です。自由な発想で自由に意見を出し合い、この地域を良くするのがこの会議の目的です。意見が出やすいようにと、中野SWの発案でメンバーの距離がグッと近くなるよう

に机をセッティング、出た意見はホワイトボードに書き込んでいきます。これで、メンバーはメモを取らずに意見交換に集中できます。

先月実施した第2回目の会議では、「各々がしたいと思うこと」を出し合いました。出た意見の一部を以下に列挙します。

- “彩り”入院中の患者さんに老健やましろのレクリエーションへ参加してもらう
- 病棟Nsを対象に『老健やましろ見学ツアー』の実施
- 地域の専門職を対象に、模型を使って医療処置を体験してもらう『医療処置体験研修会』の実施
- “彩り”を利用された患者さんやご家族を対象に『満足度アンケート』の実施

そして、出た意見の中から話を進めていく事項を決定し、メンバーで役割を決めました。今月実施する第3回目の会議では、第2回目の会議で話を進めていくと決めた事項について、進捗状況を確認しながらより具体的な形にしていく予定です。パズルを完成させていくイメージですね。

日頃から、地域の皆さんとの連携や顔の見える関係作りが大切だと言っていますが、院内の部署間の連携や顔の見える関係作りも大切だと早くも実感しているところです。今後のこの会議にご期待下さい。（地域医療連携室 室長 南出 弦）